

平成28年上半期 火災・救急・救助統計

上半期（平成28年1月1日～平成28年6月30日まで）の火災・救急・救助の各概況（速報値）は次のとおりです。

火災 出火原因1位は「放火・放火の疑い」

上半期に発生した火災は**52**件で、昨年同時期と比較すると**19**件減少し、うち建物火災も**20**件減少しましたが、その他の火災は**6**件増加しました。出火の原因の1位は「**放火・放火の疑い**（約**29%**）」で、年始から自動販売機が放火される火災が連続して発生しました。また、たき火が原因で周囲の枯れ草や可燃物に燃え移った火災も後を絶ちません。火の取り扱いに十分注意しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成28年上半期	平成27年上半期	比較
火災件数合計（件）		52	71	▲19
火災種別 （件）	建物火災	17	37	▲20
	うち住宅火災	11	19	▲8
	林野火災	1	2	▲1
	車両火災	6	10	▲4
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	28	22	6
死者（人）		0	2	▲2
負傷者（人）		5	10	▲5

出火原因

▲は減を示す

出火原因	平成28年上半期		平成27年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	1	1	3	1	▲2	0
こんろ	3	2	6	5	▲3	▲3
かまど	0	0	0	0	0	0
風呂かまど	0	0	0	0	0	0
炉	0	0	0	0	0	0
焼却炉	0	0	2	0	▲2	0
ストーブ	0	0	5	5	▲5	▲5
こたつ	0	0	0	0	0	0
ボイラー	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道	0	0	0	0	0	0
排気管	2	0	1	0	1	0
電気装置	0	0	1	0	▲1	0
電気機器	0	0	1	1	▲1	▲1
内燃機関	0	0	2	0	▲2	0
電灯・電話等の配線	1	0	0	0	1	0
配線器具	3	3	2	1	1	2
火あそび	0	0	4	1	▲4	▲1
マッチ・ライター	1	0	0	0	1	0
たき火	7	0	12	0	▲5	0
衝突の火花	0	0	1	0	▲1	0
溶接機・切断機	0	0	0	0	0	0

出火原因	平成28年上半期		平成27年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
灯火	0	0	1	1	▲1	▲1
火入れ	2	0	0	0	2	0
放火	10	1	2	0	8	1
放火の疑い	5	0	3	2	2	▲2
取灰	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	9	0	▲6	0
不明・調査中	14	4	16	2	▲2	2
合計	52	11	71	19	▲19	▲8

救 急

軽症患者が全体の50%超え

上半期に発生した救急出動件数は7,062件でした。事故種別では急病が4,476件と最も多く、全体の約63%を占め、次いで一般負傷が1,032件(約15%)、交通事故が601件(約9%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は52件増加し、搬送人員は12人増加しました。

また、救急出動全体の約50%が軽症患者でした。軽いけがや病気(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合などは、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが、本当に救急車を必要としている貴い命を救うこととなります。救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

▲は減を示す

区 分	平成28年上半期	平成27年上半期	比較
出 動 件 数	7,062	7,010	52
搬 送 件 数	6,385	6,367	18
不 搬 送 件 数	677	643	34
搬 送 人 員	6,468	6,456	12

救 助

交通事故による救助出動が最多

上半期の救助件数は61件でした。そのうち、交通事故が37件で全体の約61%を占め、次いでその他事故が16件、水難事故及び建物等による事故4件でした。

出動件数61件のうち、現場で活動した件数は35件で、39人を救助しました。活動件数に入っていない26件については、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近の住民などによって救出されたものです。

夏の行楽シーズンは、長距離の運転、海や川でのレジャーが増える時期です。交通事故や水の事故には十分注意しましょう。

救助概況

▲は減を示す

区 分	平成28年上半期	平成27年上半期	比較
出 動 件 数	61	45	16
活 動 件 数	35	29	6
救 助 人 数	39	31	8